

地獄を見ても、前に進め。



(ON THE BOAT)

CAST
HIRAKAWA Takuma / SUNAYAMA Kiyoshi / SAM Luu / FUJIMURA Sumako
YOSHIDA Mamoru / SINGUU Tadashi / HIGUCHI Kazuya / WASEDA Syuujii

STAFF
Producer / FURUSAWA Binbun / SAGARA Midori Digital Producer / NAKAGAWA Mineko Documentary Producer / TAJIMA Takako
Director / ISHIKAWA Hiroyuki / TAKAYAMA Tatsuo // KAWASHIMA Seiichi / SUWA Kei / WAGATSUMA Maya
Director of Photography / KANKI Ryouzuke / IKEDA Tsuyoshi Sound Mixer / GOTO Daisuke Hairmake / MATSUHASHI Yuki
Music Composer / ISOGANE Syunichi Production Manager / GOTO Daisuke NANAMORI Yuuki
Production / (ON THE BOAT) PROJECTS / PEACE BOAT Distributed by COMIC TWISTER.COM CO produce / MCcraft



地獄を見ても、前に進め。 世界一周、究極のロードムービー

STORY: 大海原の甲板で海賊映画の撮影が行われている。この映画に助監督として参加している西川(平川拓馬)は、ただイキがよいだけの関西人オバちゃんを主演にした行き当たりばったりの撮影にうんざりしていた。考え方の違いから監督の長谷川(サム・ルー)と対立し、助監督を辞めてしまおうと西川。辞めた西川の変わりにカチンコを握ったのは、乗客の一人としてクルーズに参加していた老人、池田(砂山清)だった。池田を助監督に迎えた撮影現場は、西川の心配どおりタバタの連続。もはや撮影現場の体をなさなくなっていく。しかし、撮影クルーに容赦ない罵声を浴びせられながらも必死に助監督を務めようとする池田の姿を見た西川は、自らカメラを取った。池田を追うことを通して、自分自身を見つめなおすために。

そんな中、主演女優とは名ばかりで、セリフひとつ満足に覚えられないわがまま放題の主演女優や、現場の苦勞など気にもかけないプロデューサーに責め立てられ、苦惱する長谷川の姿をも西川は知ってしまう。エンジントラブルによる船の乗り換え、老人・源のボケによる奇行の数々。各帰港地で触れあった人々を映像で切り取っていくうちに、西川は人生にとってかけえのないものをつかんでいくのだった。そして、船上では、海賊映画の撮影の最大のクライマックスを迎えていた...

一隻のクルーズ船からはじまる、破天荒な旅。

INTRODUCTION: 撮影は、本作品のシナリオとリンクするかのよう、113日間をかけて13カ国16帰港地を訪れる世界一周のクルーズ船を舞台にして行われました。しかも、演出、撮影、照明には、映画製作の経験の全くない映画監督人がユニットを組んで担当。おまけに、主演を含めた登場人物は、世界一周クルーズを目的とした観光気分的一般乗客たちを、船が向出してからスカウト。各帰港地での滞在時間(撮影リミット)は最短5時間。そんな破天荒な企画を立ち上げたのは、石井聰互、山本政志、林海象などと共に、インディーズムービーのパワーを世に知らしめた異色のプロデューサー、古澤敏文。乗客の中から抜擢された主人公・西川役には、本職は漁師をしていた平川拓馬がプロ俳優顔負けの存在感を出しています。西川がカメラで追う池田役には一度は俳優を志したという砂山清が、味のある風貌と共に自然体で演じきりました。また長谷川役のサム・ルーはこの映画出演がきっかけとなり、タレント活動を開始。そして、一般公募により全国から選出された6人の監督たちが、世界各国で一期一会の景色を切り取り、老若男女誰もが共感する青春映画を完成させました。



CAST

■平川拓馬/西川役 1974年生まれ。大学中退。自分の可能性と甘さを扨括するため八丈島で漁師としてカツオを追いかける。地球一周を通して世界の現状を肌で感じるため今回のクルーズに参加。そこで、目の奥にあったひとときわ光ったものに監督が惹かれ今回の主役に抜擢されることになる。■砂山清/池田役 1941年生まれ。元新聞記者。学芸部デスク、週刊誌副編集長、子供向け番組キャスターなどを経て、現在はフリージャーナリスト。日本映画ペンクラブ会員としてこれまでに雑誌などに映画批評を掲載。また、旅のエッセイなどもあり日本旅行作家協会会員でもある。■サム・ルー(Sam Luu)/長谷川役 ベトナム人とフランス人のハーフ。数カ国語を多用し本職は翻訳家。本作出演後、ジョージアCM「明日があるさ」、天願大輔監督の新作映画「AIK」に皇太子役で出演■藤村須磨子/華スミ役 1939年生まれ。大阪の母。ヨガ、エアロビクス、サッカー、空手、などで神出鬼没に活躍。彼女が劇中で着ていた衣装は、ほぼ全て本人の持ち物。

STAFF

■高山達夫(群馬県出身27歳)/総合監督 建築家を目指し工学院大学を卒業。「建築と映画制作は同じ概念だ」を理論とし、PV、ライブビデオ制作など映像の仕事フリーでこなす。監督、カメラマン、編集、フライヤーデザインなど、映像系にマルチな才能を見せる。
■川島誠一(千葉県出身29歳)/監督 幼少をアラスカで過ごす。早稲田大学法学部卒業。行政書士試験合格後、司法試験にもトライ中だが、もともと夢だった映画制作への情熱が捨てきれず、今回の企画に応募。現在は、ポスプロ会社グロービジョンに勤務。
■諏訪慶(東京都出身24才)/監督 大学中退後、ニューシネマワークショップに参加。16mm作品「テオの時間」を監督。新宿ロフトプラスワンで上映を果たす。今回最年少参加。劇中劇部分を担当し、一番長く撮影時間を費やすこととなった。撮影中、盲腸で2回倒れる。
■我妻まや(東京都出身26歳)/監督 東京造形大学デザイン科工類入学・同映画学科卒業。「4STORIES」職業映画監督等を制作。海外の歴史、文化に興味があり、単身中国に渡り、ドキュメンタリーの製作も行う。現在は東北新社でディレクターとして活躍。
■神吉良輔(兵庫県出身27歳)/撮影監督 日本映画学校卒業。卒業後海外青年協力隊に応募するが、特殊技能が何も無いことで不採用となる。今回、撮影技術を取得することにより、青年協力隊への再挑戦を目指し、映像によって国際親善を果たしたいと考えている。
■池田剛(東京都出身29歳)/撮影監督 慶應義塾大学文学部中退。その後自主制作で映像作品「Alternative」を監督。映像制作以外にも交流団体「クレイジーランニング」を主催。人種、思考、年齢を問わず交流の場を提供。イタリア映画の監督を目指し、現在はイタリア在住。
■石川浩之(山形県出身33歳)/総合監督 若年11歳で某少年誌の漫画賞を受賞し漫画家としてデビューする。が、2本描いて辞める。学生時代は映画鑑賞に明け暮れ、シネマ愚連隊で映画を学び、初めて8ミリ映画を監督。某広告代理店に勤めるが、28歳で照明助手として映画の現場に入る。その傍ら自主映画で16ミリ映画「スクールデイズ」を監督。自らの手で劇場公開にこぎつける。
■後藤大輔/録音 身長189cm。バスケットボール歴10年。美大の映像学科受験に失敗。唯一受かった某大学経済学部に通いながら、夜は映画の専門学校を通い、自主映画作品を渡り歩く。そんな毎日に飽きず、海外への逃避を思っている最中、今回の企画に出会い、大学をほったらかしにして参加する。帰国後はCM制作会社にて勤務。



出演：平川拓馬/砂山清/サム・ルー(Sam Luu)/藤村須磨子/吉田 護/新宮 忠司/樋口 一也/早稲田 修治

総合プロデューサー/古澤敏文 プロデューサー/相良みどり
デジタルプロデューサー/中川美音子 ドキュメンタリープロデューサー/田島敬子
総合監督/石川浩之 高山達夫 監督/川島誠一 諏訪慶 我妻まや 撮影/神吉良輔 池田剛 録音/後藤大輔 メイク/衣装/松橋由希
音楽監督/磯金俊一 制作/後藤大輔 斜森裕紀 製作/(ON THE BOAT)PROJECTS/PEACE BOAT
配給/(株)コミックウイスター 製作/配給協力/エムシークラブ
2001年/35mm/78分/日本映画/カラー ©(ON THE BOAT)PROJECTS/PEACE BOAT M

'03 2/22(土)より究極のロードショー!! [3/7(金)まで]

連日 1:20 3:05 4:50 6:40

特別鑑賞券 1400円好評発売中!!

★豪華ゲストによるトークショー随時実施!! (詳しくはお問い合わせください)

当日/
一般1700円、学生1400円、
高・中・小・シニア1000円

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分
シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/

地下鉄中央線		→本町
九条駅		
→大阪港	アルド	6番出口
→シネ・ヌーヴォ	ナルド	→ナゾミビル
→大坂ドーム	パチンコ	→九条商店街